

# 林業ぐんま



## 目次

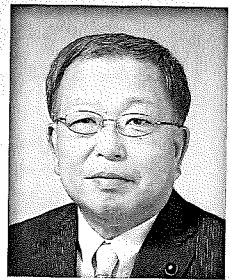
会長・環境森林部長挨拶	1
普及コーナー	2
・第四十七回群馬県児童生徒木工工作 コンクールを開催	2
お知らせ	3
・第二十六回きこの品評会 林政情報	3
・令和四年度群馬県建設工事表彰 林業労働力確保支援センターから	5
・林業労働力の確保に向けて 各地の便り	6
(渋川) 赤城県有林「ぐんぎんの森」 整備活動	6
(西) 群馬銀行新入行員による森林整備 活動	6
(藤岡) タブレットで木材検収 素材生産量の増大に向けて	6
(富岡) 富岡高校一年生が職場体験学習 「吾妻」タワーヤード架線計画研修	6
(利根沼田) 利根実業高校で 森林林業講習会を開催	6
(桐生) チェーンソー講習会の開催 地域を担う人	11
小寫 一啓さん 平方 雄大さん 須藤 晃太さん	11
森の談話室	12
・造林保育用機械の導入による 省力化と労働環境改善	12
吾妻森林整備株式会社 代表取締役 谷口 哲規さん	13
群馬県森林・緑整備基金だより	13
・共同計画の推進 「集約化による林産事業に向けて」	13

# 新春

2023

「林業ぐんま」はホームページでもご覧になれます  
<https://gun-fukyu.jimdofree.com/>

群馬県林業改良普及協会



群馬県林業改良普及協会会長

## 狩野 浩志

新年明けましておめでとうございます。皆様には、日頃から本会の運営に格別なるご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて近ごろ、身近な建築物等に木材が利用される動きが目立つようになり、昨年一昨年に施行された「都市（まち）の木造化推進法」を背景とした国産材活用の広がりや、SDGs、「2050年カーボンニュートラル」の推進等に向けた流れが要因と考えられますが、林業・木材産業にとっては、たいへん喜ばしいことと受け止めております。

しかし、その一方、いわゆるウッドショックによる木材不足や価格の高止まり、さらにはウクライナ情勢等により木材需給が不安定となるなど、依然として厳しい状況は続いております。

そのような中、国では一昨年、新たな森林・林業基本計画を策定し、森林を適正に管理し、林業・木材産業の持続性を高めながら成長発展させることで、「2050年カーボンニュートラル」を見据えた豊かな社会経済の実現を目指す「グリーン成長」を施策の柱に掲げ、推進しています。一方、県では森林資源の循環利用をより重視し、低コスト林業への転換や収益性の向上を図ることにより林業の競争力を強化し、「自立した林業・木材産業の実現」を目指すとともに、林業経営を通じた森林整備により、防災・減災につながる公益的機能の高い森林の維持・増進を図る施策を推進しています。当会といたしましても、国や県の施策に協力し、会員の皆様とともに積極的に行動したいと考えています。

現在、新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えず、さらには国際情勢も不安定な中、林業・木材産業にとっても、需給の先行きが見通せないなど厳しい状況が続くと思われ、本会といたしましては、全国の優れた取組み事例や最新の林業技術・生産システム、さらに県内各地の情報等を皆様に紹介しながら、普及活動を通して森林・林業・木材産業の発展に少しでも寄与できれど願っております。

結びに、皆様のご健康と益々のご活躍、そして今年が皆様にとって良い年でありますことをご祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。



環境森林部長（兼）  
グリーンイノベーション推進監

## 須田 恵理子

新年明けましておめでとうございます。群馬県林業改良普及協会の皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、ロシアのウクライナ侵攻などの影響により原油や穀物等の価格が高騰し、更に円安の進行によって輸入物価が上昇するなど、日本経済にとっては大変厳しい一年となりました。こうした状況を踏まえ、県では県民生活や経済活動への影響を最小化するために原油価格・物価高騰対策の施策を講じるとともに、時代の変化に対応し新しい群馬を切り拓くための「未来への投資」にもしっかりと取り組んでいるところです。

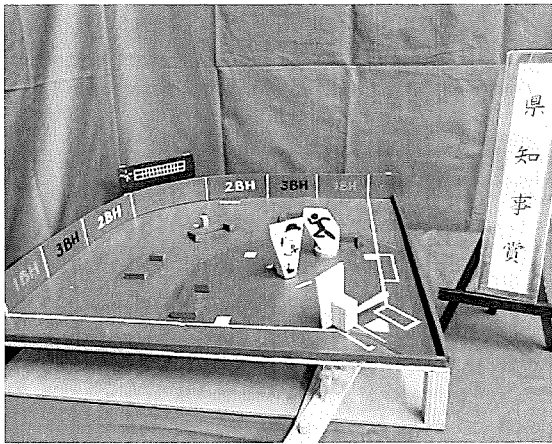
本県では、災害に強く持続可能な社会を構築するとともに県民の幸福度を向上させるため「ぐんま5つのゼロ」を宣言し、昨年3月には取組を一層推進するために「2050年に向けた『ぐんま5つのゼロ宣言』実現条例」を制定しました。このうち「自然災害による死者ゼロ」「温室効果ガス排出量ゼロ」に向けては、県土の強靱化や地球温暖化対策として、治山・林道事業や森林整備の推進及び県産木材の利用に努めています。

県土の3分の2を森林が占める「関東一の森林県」である本県は、首都圏の水源地であると同時に循環利用可能な森林資源の宝庫と言えます。この大切な森林を守り続けるとともに、充実した森林資源を「伐って、使って、植えて、育てる」という循環利用により林業・木材産業を大きく飛躍させ「自立した林業・木材産業」の実現を目指します。また、本県のこの生産につきましてもは生産量が全国でも上位であり、中山間地域の重要な産業です。安全・安心を基本に、皆様に美味しく召し上がって頂けるようこの産業の発展にも尽力して参ります。

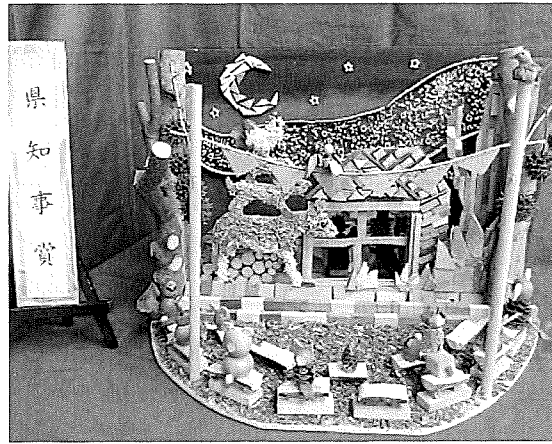
本年も市町村や関係団体の皆様と連携し、本県の森林・林業・木材産業及びこの産業の発展のため全力で取り組んで参りますので、皆様の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

# 普及コーナー



「野球盤」  
安中市立松井田小学校  
小栗 輝大さん(6年)



「チェンジ!!!3Dシアター」  
玉村町立玉村小学校  
櫛淵 そらさん(5年)

第四十七回 群馬県児童生徒木工  
工作コンクールを開催しました



「睡蓮池のカワセミ」  
高崎市立中尾中学校  
猪内 悠生さん(2年)

県では県木材青年協会と共催し、小・中学生に「木材の良さ(温かさ・加工しやすさ等)」を知ってもらうため、木工工作コンクールを開催しています。

今年度は、11月11日(金)～11月13日(日)まで県庁一階県民ホール北側にて作品展示を行い、延べ775人が来場されました。

出品された作品は、低学年で木を大胆に使い、木の質感や色合いをうまく表現した作品が多く、高学年になるにつれて、木を加工し、木の枝や木の実などをうまく使った作品が多くなっています。

全体を通して、木の魅力が存分に表現され、多様な表現の面白さ、美しさを感じさせてくれるものでした。



第二十五回きのこ品評会 金賞受賞しいたけ

お知らせ  
第二十六回  
きのこ品評会を開催します

2日間の日程で、初日に出品物の審査(1月24日)、2日目に表彰式・出品物の展示・きのこの一般販売・展示品の即売(1月25日)を行います。

即売には、厳選されたきのこをお買い求めいただけますので、是非足をお運びください。

日程…令和5年1月24日(火)・25日(水)  
場所…群馬県庁1階 県民ホール(北側)

前橋市大手町一丁目一番一号  
問合先…林業振興課きのこ振興係  
TEL027・226・3234

# 林政情報

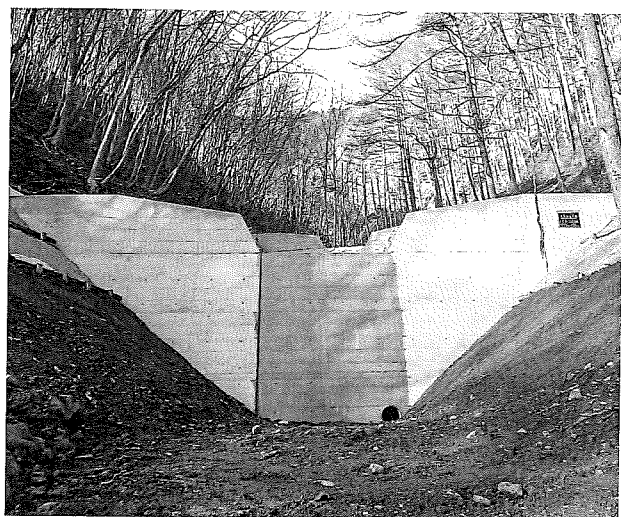
## 令和四年度 群馬県建設工事表彰

群馬県建設工事表彰は、県民の生活及び経済活動等の基盤となる社会資本整備を適切に推進するため、群馬県が発注した建設工事等を適正な工程管理と優れた施工技術によって、他の模範となる工事を完成させた建設業者及び主任技術者等を表彰するものです。これにより品質の高い工事を確保するとともに、建設業等の発展及び施工技術の向上に資することを目的として、毎年、知事表彰、部長表彰、所長表彰を行っています。

環境森林部発注工事に係る令和四年度の表彰工事は、令和三年度に完成した契約金額五百万円以上の対象工事二百三十四件の中から、品質管理・出来形・出来ばえ等の審査基準に基づき、厳正な審査が行われ、知事表彰四件が九月十六日、部長表彰四件が十月二十七日、所長表彰四十八件が各発注事務所の表彰式で受賞の榮譽に輝きました。

受賞された皆様に心よりお祝い申し上げますとともに、引き続き、安全第一で高品質の工事を完成していただくよう、御協力をお願いします。

(森林保全課)



② 利根郡川場村大字川場湯原(木賊)地内



① 利根郡昭和村大字川額(清水沢)地内

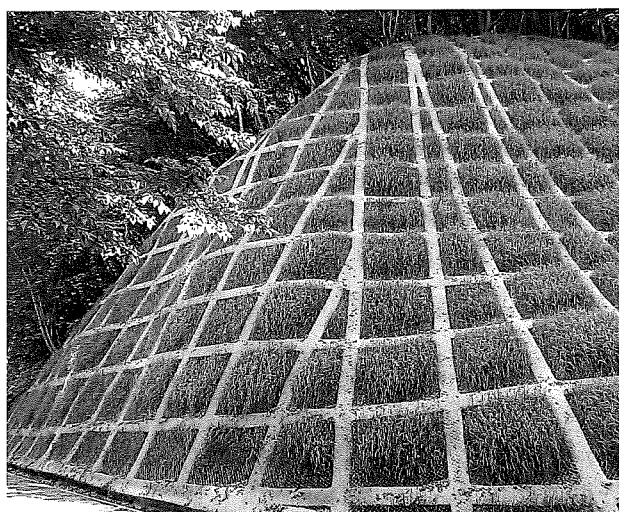
## 令和四年度 群馬県建設工事表彰(知事・部長)受賞者

知事表彰(環境森林部) 4箇所 4社

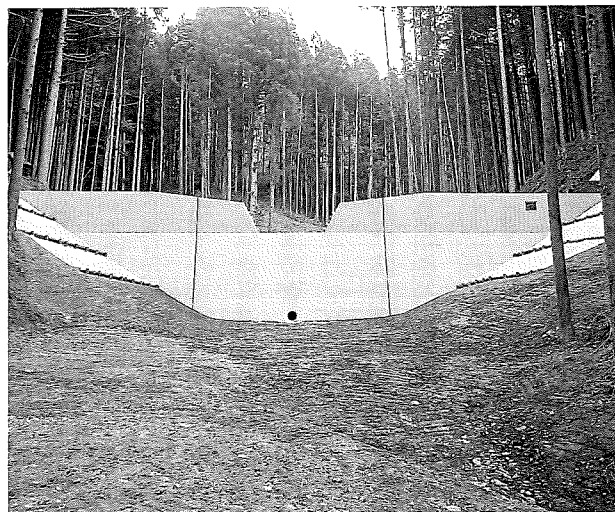
施 工 者	主任技術者	発注事務所	写真 番号
石坂建設(株) 諸田 光二	茂野 義則	利根沼田 環境森林	①
小坂建設(株) 小坂 哲平	水出 修	利根沼田 環境森林	②
(株)新井土木 新井 正則	大塚 孝二	桐生森林	③
東興ジオテック(株) 北爪 聡	渡邊 哲	桐生森林	④

環境森林部長表彰 4箇所 4社

施 工 者	主任技術者	発注事務所	備考
上原建設(株) 五十嵐 修	安藤 収	富岡森林	
(株)高 特 設楽 雅之	永井 和明	吾妻環境 森林	
(株)椎坂建設 小林 好	小林 義孝	利根沼田 環境森林	
(株)金子建設 金子 和利	諏訪 有基	桐生森林	



④ みどり市東町座間(柱戸南)地内



③ 桐生市黒保根町上田沢(南平久保)地内

# 林業労働力の確保に向けて

林業関係の仕事量は、十分あるようですが、労働者不足で、納期遅れや仕事量のセーブが必要になっている事業体もあるようです。

群馬県の有効求人倍率は、1.53倍（群馬労働局調べ一〇月末）です。求人数は増加傾向、求職者数は、減少傾向にあります。新規求人13,277人に対し、新規求職者数5,662人、新規求人倍率は2.34倍となっております。新たに求人を出しても求職者がなかなか来てくれない状況にあります。林業関係の求人傾向は、秋から冬にかけて急激に求人が増加する季節性が顕著です。

林業労働力確保支援センターでは、県林業振興課、群馬県森林組合連合会と連携して、林業就業者確保のイベントへ参加をしています。十一月に行われた、森林の仕事のガイダンス（東京）では、二十六名の方が就業相談に訪れ、コロナ禍前の水準に戻ってきています。また、三十歳前後の若い相談者が多いのが特徴的でした。

一方、群馬会場では、前年の三十一名から十一名に減少しましたので、広報等の検討が必要のようです。

今回のガイダンスでは、試験的に一部の事業者に参加していただきました。参加者からは、実際の事業者から雇用条件等の実情が聞けて参考になったとの声がありました。

一月末から行われる、県主催の林業就業支

援講習に参加の希望する方もいましたので、林業就業者の増大に向けて、しつかり情報提供を行っていきたいと思います。



群馬会場での相談状況

当センターが行っている事業体及び現場巡回訪問の情報として、仕事はあるのだけれど人手が足りない、求人を出しても応募がな

い等のお話を伺っています。国有林では、八〇〇〇〇ヘクタール程度の大面積間伐事業が発注されています。受注した事業体は、労働力不足を補うために、高性能林業機械の活用や協力会社を探すほか、ハローワークへ求人を出すなどしています。多くの事業体は、当面の仕事は確保できているため、年単位で仕事を発注するなどの工夫をしないと協力会社の確保が難しいようです。人材確保策として、月給制や昇給制度、労働条件改善に意欲を見せている事業体もあります。

当基金も人出不足や燃料高騰対策として、高性能林業機械貸し出しの事業費を補正するなどして、多くの事業者を活用していただけるよう取り組んでいます。事業者からは、機械利用に支援があるので、燃料高騰や人手不足に対応できて、支援は大変助かっているとのことでした。

今後も林業現場での人手不足は継続すると思われまますので、林業事業者の要望にこたえられるように人材確保に取り組んでいきたいと思えます。

また、巡回したほぼすべての現場で安全装具の装着がされており、安全意識が向上してきたと思われまます。しかしながら、労災事故は発生していますので、さらなる意識改革や対策が必要と思えます。

# 各地の便り

## 赤城県有林「ぐんぎんの森」整備活動

群馬銀行新入行員による森林整備

群馬銀行と県では、二酸化炭素の吸収など森林機能の向上を目的とし、県有林の整備・保全を協働で実施する協定を締結しています。



赤城県有林のヒノキ林を間伐した群馬銀行新入行員の皆さん

この協定は県有林整備パートナー事業に

基づいて締結され、群馬銀行が平成23年3月に県内で初めて締結しました。これに基づいて赤城県有林渋川経営区内に「ぐんぎんの森」

(前橋市富士見町赤城山地内、県道4号前橋赤城線沿い、さくらの広場隣接地)を設け、現在3期目(1期5年間)となりました。群馬銀行からは寄付金が提供され、これより渋川森林事務所が、ヒノキ林(26年生)2.2haの間伐を実施しました。森林整備はこの他に、毎年春、群馬銀行の新入行員の皆さんが「森林の働き」等の講義を受けながら、間伐などを実施しています。上の画像は今年4月に入



赤城南麓森林組合 事業部長 石塚征人さん

行し、間伐を実施した皆さんです。この時、新入行員の皆さんの間伐の指導をした赤城南麓森林組合の事業部長石塚さんは、

「群馬銀行さんの寄付により赤城南麓地域の森林整備が進むことに深く感謝します。また、新入行員さんが森林整備を体験され、林業について理解を深めていただくことで、森林・林業への更なるご支援をお願い申し上げます。」と期待を述べられました。

(渋川森林事務所通信員)

## タブレットで木材検収

高崎市箕郷町松之沢地内の県有林において、業務の省力化に向けた取り組みとして、タブレットを用いた木材検収を行いました。この機能は株式会社マプリー社により開発された「空間情報取得・管理・活用」することが出来るアプリであり、LiDAR機能を搭載したタブレットを利用することで、空間をスキャンし、3Dデータの取得ができるものです。

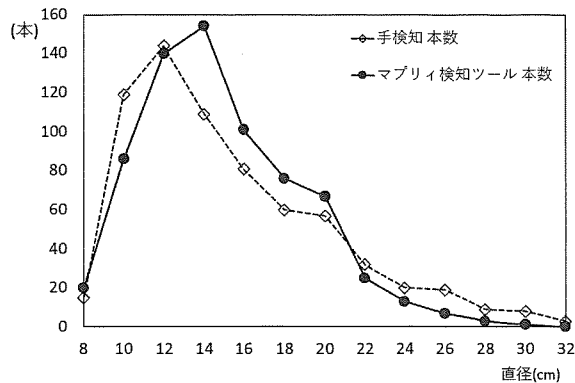
林業試験場の協力を得て実際に使用してみたところ、タブレットのカメラレンズを木口にかざすだけで、画面には直径の計測がされた丸太の木口に瞬時に赤い丸が表示され、計測の早さに驚きました。また、計測に誤差が



木材検収状況

# の便り

あるときは、再計測したい赤い丸をタップすることで、測り直すこともできました。



(参考)検知比較 グラフ

従来の手検知とマブリーによる計測結果はグラフのとおりとなります。本数は手検知が676本だったのに対し、マブ

リーによる検知は693本と計測されました。木口に泥が付いたり、樹皮が木口に被るなど木口が正確に計測できない場合と、カメラの高さが木口面に届かない場合などは、計測不能となってしまうようでした。従来の手検知に比べ、アプリによる検知の誤差が少なくなれば十分実用化できると感じました。一人作業も可能であり、瞬時に計測できる点は検知の効率化に繋がると思いました。なお、今回の計測結果はあくまでも参考数値ですので、ご留意ください。

(西部環境森林事務所通信員)

## 素材生産量の増大に向けて

藤岡森林事務所では、昨年度より、素材生産量の増大と製材工場への原木の安定供給を目的に、多野東部森林組合と県産材加工協同組合(株トーセン)の業務連携を進め、令和4年4月から搬出間伐をはじめましたので、その経過について報告します。

(株トーセンは、県産材加工協同組合が必要とする原木を安定的に確保できるように、多野藤岡地域の林地の確保を望んでいます。

一方、多野東部森林組合は、素材生産量を増大させるため施業の実施を望んでいます。そこで、その両者の間を取り持ち、森林組合の林地供給事業により、六十三・五ヘクタールの森林の取得若しくは施業受託することを進めました。

これを契機に、多野東部森林組合と(株トーセン)の業務連携の合意を図り、手始めとして、(株トーセン)が藤岡市内に所有する約三十二ヘクタールの森林の搬出間伐を、多野東部森林組合が受託し、実施しています。併せて、(株トーセン)から高性能林業機械を優先的に貸与できるものとし、低コスト化を図っています。現在、十三・九ヘクタールを施工し、素材千三百四十七m<sup>3</sup>、チップ三百八十八tを生産しています。



今後、今年度の取り組み結果を精査し、互いの目的が達成できるよう課題を整理し、この業務連携が継続的になるよう支援していきたい。

(藤岡森林事務所通信員)

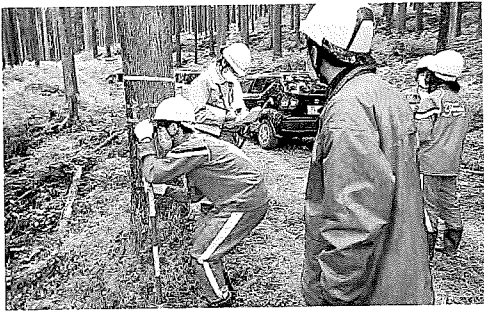


## 富岡高校一年生が 職場体験学習

十一月八日から十日までの三日間、富岡高校一年生の生徒三名が富岡森林事務所で職場体験学習を行いました。このうち一名は女子生徒でした。

一日目は県有林の施業、二日目はきのこ生産現場に同行し、三日目は、南牧村の山林で造林検査の補助体験と土場を見学しました。造林検査では、南牧村のスギ林を間伐した施工地(計二十ヶ所)の現地検査に立会いました。

森林事務所の職員から間伐について説明を受け、施工面積、伐採率、林齢が申請どおりか確認作業をしました。南牧村森林組合職員から、現在は、デジタルコンパスを使用しているの、アナログコンパスを使用していた頃



デジタルコンパスで距離測定

と、測量業務が軽減されたとの説明を受けました。土場の見学では、森林組合の担当者から搬出材の説明を受け、主に群馬県森林



土場見学

ズを行いました。生徒たちは予想よりも安い価格に大変驚いていました。

今回、生徒たちが体験先に富岡森林事務所を選んだ理由を聞いてみたところ、「環境問題に興味がある」「将来は地元での就職を考えている」「自然活動を通して森林・林業の仕事に興味がある」との回答でした。また、体験学習の感想として、「高校では学べない森林・林業の話が聞いて良かった」「家に帰ったら、お母さんに森林の仕事について話したい」「林業に関する仕事は木を伐るだけでなく、きのこやホダ木の放射線検査があることを知った」などがありました。

生徒たちには、甘楽富岡地域の森林・林業への関心を高める有意義な機会となったようで、三人の中からこの地域の林業後継者が育ってくれることを期待しています。

(富岡森林事務所通信員)

## タワーヤード架線計画研修

吾妻森林組合では、皆伐再造林の低コスト化を図るため、架線系による集材システムの実証を計画しています。

このことから、架線系集材システムの課題を把握するため、踏査、索張方法等についての架線計画研修会を開催しました。

当日は、岩手県でオーストリア製のタワー



土場での事前説明

# の便り

ヤードを活用し、皆伐再造林に取組んでおり、本年度、利根沼田森林組合で実施した実証事業の指導者でもある、株式会社古里木材物流代表取締役の畠山正氏、整備管理統括の小野寺正人氏を講師として迎え、施業予定地で検討を行いました。

吾妻森林組合の入澤林産課長から施業面積が六・三九ヘクタール、タワーヤードによる全木集材によりC材や枝葉を現地でチップにする計画等について説明がありました。

畠山社長からは、枝葉も集材することで地拵えの支障が少なくなり、木質バイオマス燃料として活用できる全木集材のメリットについて、小野寺整備管理統括からはタワーヤードによる索張方法や控索、中間サポートの設置方法等について事前説明を受けました。

その後、施業予定地内において、タワーヤードの設置箇所や、控索として使用する立木の選定方法について説明を受けました。

また、現地踏査により地形、施業範囲を考慮した主策の方向、横取幅（七十メートル）や有効直線距離（四百メートル）に応じた集材方法等について検討しました。

畠山社長からは、下げ荷集材であり、オートチョーカー（リモコン操作により荷降ろしできる装置）が利用できるように集材効率が高く、土場スペースの不足が予想され、ハーベスタのオペレーターの負担増加と、集材した

丸太の効率的な搬出が課題となる点について指摘を受けました。

本研修において、架線の有効直線距離を超える部分の集材方法や土場における作業システム等の課題が明らかになりました。

今後は架線系集材と車輻系集材の区域設定、資源量の把握による生産量の推計、搬出計画、出荷先の検討等、実証に向けて準備を進めます。

（吾妻環境森林事務所通信員）



先柱候補の選定

## 利根実業高校で森林 林業講習会を開催

利根沼田環境森林事務所では、10月12日（水）に利根実業高等学校の2年生（19名）と3年生（21名）の生徒を対象に森林・林業講習会を実施しました。

今回の講習会では『バーチャルによる林業体験』をテーマに、ハーベスタシュミレーターによる操作体験、VRによるチェーンソーの伐倒事故疑似体験、デジタルコンパス・タブレット端末による測量体験を行いました。

シュミレーターやVRの利点は、室内にしながら疑似体験を行えること。安全な環境で林業機械の操作を繰り返し練習することができたり、現場にいる感覚で災害事例を体感したりすることができそうです。

今回の講習では、シュミレーターをはじめ、VRもデジタルコンパスも初めて経験する生徒ばかりで、操作に苦労する場面もありましたが、皆熱



ハーベスタシュミレーター体験

心に取り組んでいました。

実施後のアンケートには、「操作ボタンが複雑だけど誰でもできるくらいのシンプルさで便利だと思った」、「ハーベスタを本当に扱ってみたくなった」、「伐採の状況をVRで体験することで危険な作業を安全な場所から学ぶことができた」、「またタブレット測量がやりたいと思った」などの意見が寄せられました。

また、先生方からは、「通常の授業や実習では伝えきれないことを生徒たちに体験させることができる」とのことから、来年度の実施要望も寄せられました。

今回の講習は当事務所の初めての試みでしたが、今後も継続して取り組んで行きたいと考えています。

(利根沼田環境森林事務所通信員)



VRによる伐倒事故体験

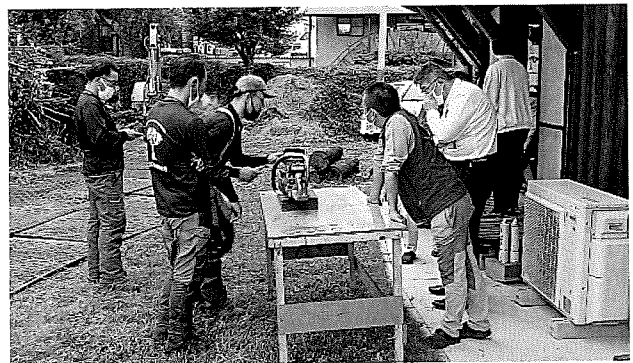
## チェーンソー講習会の開催

十月四・五日、桐生広域森林組合主催のチェーンソー講習会が開催されました。講習会には森林組合の職員と、組合の協力企業三社の従業員など十九名が参加しました。講師はハスクバーナ・ゼノア(株)から3名が派遣されました。初日午後は「チェーンソー作業による災害統計から考えるチェーンソー安全設計と装備について」、「保護具・林業ツールについて」、「JLIC/WLICの紹介」、「安全で効率的なチェーンソーの目立て」など3時間に及ぶ座学が実施されました。二日目午前



講義「日常メンテナンスのポイント」

は「2サイクルエンジン・チェーンソー・草刈り機の構造、オイルの知識」と「日常メンテナンスのポイント」を学



実技「チェーンソーの目立て検証」

ました。参加者は自ら行った目立ての効果を確かめました。

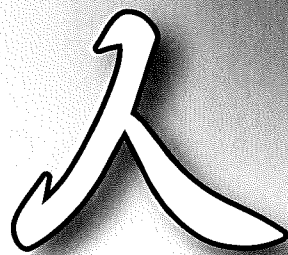
このような講習を開催することで、各人の技術(効率性、正確性等)や安全(装備、動作手順等)に対する意識の向上につながることを期待できます。

また、今回の講習会開催のきっかけは、現場職員からの提案によるものでした。良いと思った事はまずやってみる姿勢は、組織の活性化に良い影響を与えます。このような活動を継続することで、職員の自発的な向上心の醸成や組織の成果向上につながってゆくことを期待しています。

(桐生森林事務所通信員)

び、午後からは屋外で「草刈り機とチェーンソーのメンテナンス実践」及び「チェーンソー目立て検証」の実技を行い

# 地域を担う



利根沼田森林組合

小寫 一啓さん

一 趣味 味

ゲーム

二 今後の抱負

緑の雇用の3年間の研修を終えることが出来ました。3年間で学んだ技術や知識を活かしながら林業を続けて行きたい。また、これからは先輩方からの指導を受けながら作業し、自身の向上に繋がっていききたいと思います。



利根沼田森林組合

平方 雄大さん

一 趣味 味

筋トレ・マラソン・バドミントン

二 今後の抱負

三年間という長いようで短いと感じた緑の雇用を終え、技術面で大きく成長できたと思う。四年目以降は技術面の成長はもちらんのこと仕事の効率という面ですらに成長できればと思う。現場一つ一つで、覚えられることが変わり増えていくので全部自分の力となるように努力していきたいと思う。



株式会社須藤木材

須藤 晃太さん

一 趣味 味

ゴルフ・ジム

二 今後の抱負

緑の雇用3年間で修了しました。様々な人と出会い、現場作業は安全第一だということを学びました。知識・技術の向上を意識し、常に考え、試行錯誤を繰り返して、林業という素晴らしい職業を続けていけるよう努力していきたいと考えています。

# 森の談話室

## 造林保育用機械の導入に

## よる省力化と労働環境改善

### 吾妻森林整備株式会社

代表取締役 谷口 哲規さん

本年度、遠隔操作式の保育用機械を導入する長野原町の吾妻森林整備株式会社の代表である谷口哲規さんにお話しをお伺いしました。

吾妻森林整備株式会社は長野原町、嬭恋村、草津町、旧六合村の林業事業体9社により平成十年に設立されました。

谷口さんは林野庁を退官後、公益社団法人国土緑化推進機構に勤務されていましたが、草津営林署長等を務められた経験もあり、平成二十五年に営業部長として入社し、前社長の急逝により令和二年から代表取締役として御活躍されています。

「林業の機械化は遅れており、特に造林・保育の工程は機械化が進んでおらず、負担の大きい作業になっていきます。今後、皆伐再造林を進めるためには、造林・保育における機械



谷口社長

吾妻森林整備株式会社

化を進める必要があると考えています。加えて、作業の安全性を向上させるため、転倒や蜂刺されによる現場作業者の危険性が低いリモコンによる操作が可能な遠隔操作式の草刈機を導入することにしました。」とお話しされています。

導入する機械はラジコンモア（刈幅八十七センチメートル）、ロボエボ（刈幅一メートル三十七センチメートル）の二台で、ラジコンモアは機械下部の刈刃の回転により主に草本を処理する構造であり、現状の植栽幅（一メートル八十センチメートル程度）でも作業が可能となっています。ロボエボは機械前部の

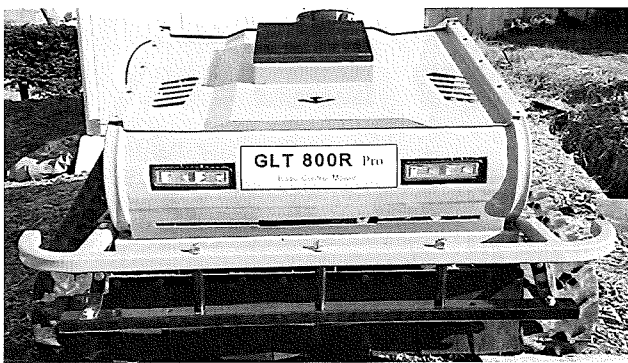
カッターヘッドの回転により灌木類まで処理することができ構造となつていますが、機械の旋回時に苗木を倒してしまふ可能性があるため、二台を組み合わせて使用する方法を検討しているとのことでした。

また、林業専用になつた機械ではないため、納品後に試運転を繰り返し、小さな不具合や微調整は自社で対応していますが、刈刃の高さの調整など構造的な改良は代理

店での作業が必要となり、お伺いした際もラジコンモアは代理店で改良中でした。

最後に「導入する機械は改良が必要な点も多く、十分に活用できるか不安な部分もありますが、保育作業の機械化を進めるためには現場での実証を重ねる必要があります。会社として大きな投資になりますが、労働災害の防止にもつながることから、試行錯誤しながら取組んでいきたい。また、令和三年以降二十代の従業員が2名入社し、来年も1名採用する予定であり、若手技術者の技能向上も図りたい。」と将来の展望をお話ししてくださいました。

（吾妻環境森林事務所通信員）



GLT 800R ラジコンモア



エナグリーン ロボエボ

## 群馬県森林・緑整備基金だより

# 共同計画の推進 ～集約化による林産事業に向けて～

本年四月、当基金は第三期となる森林経営計画の認定を受けました。この計画により、一八七一ヘクタールの分収林の管理・経営を行っていきます。

また本年度には、中之条町で吾妻森林組合との共同で森林経営計画の認定を受け、林産事業にも取り組んでいます。

共同計画では、吾妻森林組合と相互に課題を補完し、より効率的な森林整備を進めることを目的に協力していくこととしています。

### 分収林が抱える課題

当基金が管理する分収林は、総面積としては大規模所有ですが、個々の分収林単位で見ると場合には、小規模分散な森林とも言えます。

多くの分収林が成熟して利用期を迎える中で、林産事業を進めるために作業道整備が必要となっています。

しかし、小規模分散型の分収林では、傾斜等の地形条件から、作業道開設が困難な場合が多くなっています。

また、規模に関わらず林道等に接続していない分収林では、作業道開設には近隣所有者との連携が求められます。

このため、林産事業を進めるうえで、森林組合等との共同計画を作り、施業集約化での実施は有効と考えられます。

### 森林組合等から見た共同計画のメリット

森林組合等が林班単位で森林経営計画を策定する場合、林班面積の二分の一以上の森林所有者との委託契約が必要です。

合意形成の難しさから、計画面積の確保が進まず、森林経営計画がなかなか策定できないのが現状です。

当基金との共同計画では、計画面積に分収林面積と合せて認定の面積要件を満たすことができ、計画策定までの負担を軽減することが可能です。

森林経営計画の策定が進むことで、中長期的な事業量確保でき、事業体経営の安定が期待できます。

### 共同計画推進に向けて

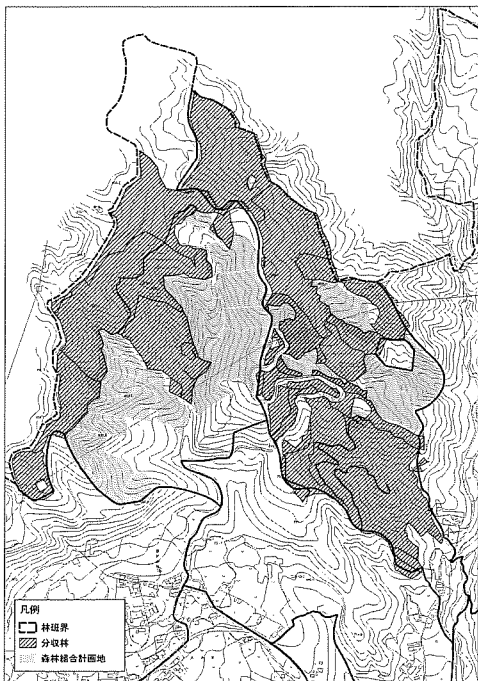
当基金の分収林は過去の施業経緯から独自の台帳で小班や面積等を管理しており、地域森林計画の林小班や森林簿と一致しない場合がほとんどです。

このため、市町村担当者が計画箇所の照合に苦慮するなどの課題が発生しています。

この解決には、各（環境）森林事務所の森林経営専門官と連携し、情報提供や支援が必要と感じています。

まだ課題もありますが、分収林経営とともに、地域森林整備の推進にも貢献できる様、積極的に共同計画に取り組んでいきたいと考えております。

今後とも効率的な森林整備の推進にご協力いただけます様お願い申し上げます。



共同計画の概要図

2022~2023

# 月刊 林業新知識

山林所有者の皆さんと、ともに歩む月刊誌です。

山林の資産管理、林内栽培ビジネス、造林、育林、間伐などの森づくり技術、道具の使い方・工夫など、実践に役立つ情報が満載。読者と一緒を作る月刊誌です！

全国林業改良普及協会 編  
B5判 24頁 一部カラー

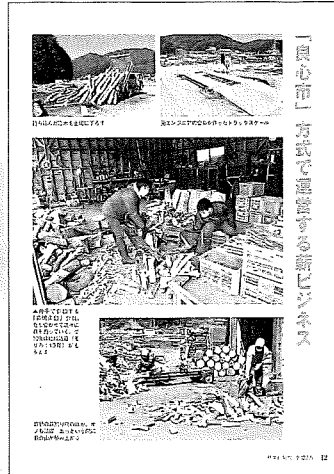
こんな内容がお読みいただけます。

### 山林の管理方法

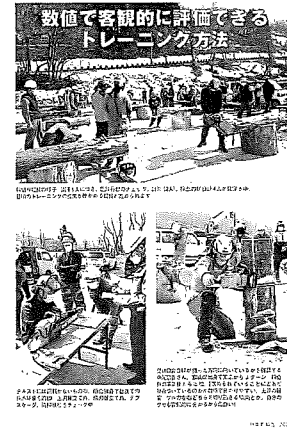
- ・山林所有者家族の山林活動紹介(後継者・夫婦)
- ・林業経営ノウハウ
- ・山菜・キノコなどの栽培、加工、ビジネス
- ・施業技術
- ・後継者対策
- ・森の楽しみ方
- ・山林管理や地域・家族のお悩み相談室
- ・木工クラフト
- ・林研グループ活動
- ・木材市況、ほか

### 山仕事の実践者へ

- ・安全で効率の良い作業技術
- ・初心者向けの自伐ノウハウ
- ・チェーンソー、道具の使い方や工夫
- ・安全用具、ほか



山林所有者のご家族が表紙に登場します



2022~2023

# 月刊 現代林業

時代に対応したテーマを、読者の立場でわかりやすく。「そこが知りたい」が読める林業関係者必須の情報誌。

新たな林業施策や技術など、林業の最新動向・情報を掲載。「現場主義」をモットーに、地域レベルでの林業展望、木材の利活用、山村振興などをテーマにした取材。林務担当者に役立つ解説。

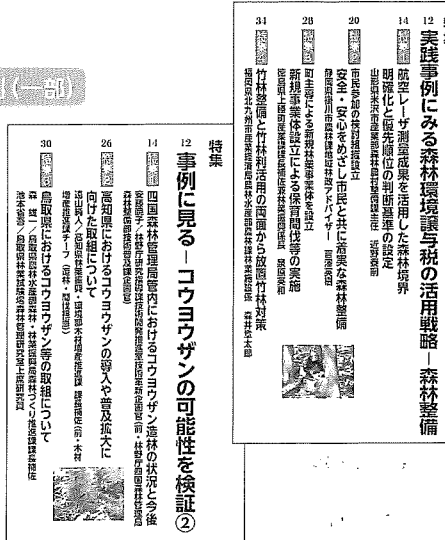
話題のテーマをフォーカスする「特集」(一部)

- ・「第3次ウッドショック」が浮き彫りにした日本の森林・林業・木材産業の課題
- ・実践事例にみる 森林環境譲与税の活用戦略ー森林整備
- ・事例に見る一コウヨウザンの可能性を検証

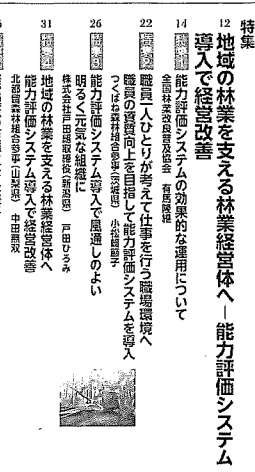
多様な情報・連載コーナー

- ・ナラ枯れと里山広葉樹の管理・活用
- ・木材トレンドを読み解く・普及員実践日誌
- ・お役に立ちます! 最新研究紹介
- ・飛田京子の安全談義
- ・チャレンジする林業現場の課題を追って
- ・林研グループが応援します!
- ・法律・税務・制度相談室
- ・読者のお悩み相談、ほか

全国林業改良普及協会 編  
A5判 80頁



林業現場で働く女性たちが表紙を飾ります



ご購入のお申込み・お問い合わせ先

群馬県林業改良普及協会 (群馬県林研グループ連絡協議会)

〒371-0854 群馬県前橋市大渡町1丁目10番7号 群馬県公社総合ビル6階

TEL 027-280-6259 FAX 027-255-6265

e-mail gun-fukyu@tiara.ocn.ne.jp

群馬県リサイクル緑化協会会員 ISO 9001 / 14001 / 45001 認証



# 上毛緑産工業株式会社

代表取締役 高橋 範行

- ◆ 本 社 〒370-3607 群馬県北群馬郡吉岡町小倉 827-87 TEL 0279-54-7723 FAX 0279-54-8603
- ◆ 仙台営業所 〒983-0005 宮城県仙台市宮城野区福室 4-2-35 TEL/FAX 022-786-1406
- ◆ 上ノ原試験研究所 〒377-0000 群馬県渋川市上ノ原 3223-4 TEL/FAX 0279-24-3453

URL <http://www.jouryoku.com/> E-Mail [webmaster@jouryoku.com](mailto:webmaster@jouryoku.com)

森林土木事業を通じて、山村の安全・安心と山村振興に貢献

## 群馬県森林土木建設協会

会長 山藤 浩一

〒371-0854 群馬県前橋市大渡町1-10-7(群馬県公社総合ビル6階)  
☎(027) **280-6256** FAX(027) **255-6265**  
E-mail: [gun-sidokeki@tiara.ocn.ne.jp](mailto:gun-sidokeki@tiara.ocn.ne.jp)

～ 森と緑と笑顔のために ～

### 一般財団法人 群馬県森林・緑整備基金

〒370-3503 群馬県北群馬郡榛東村大字新井2935  
群馬県林業試験場 別館内  
TEL 027-386-5901 FAX 027-386-5902

森づくり、森林調査、林業用資材の販売等をしています。

### 一般財団法人 日本森林林業振興会

前橋支部

支部長 高 嶋 伸 二

〒371-0035 前橋市岩神町4-17-3  
TEL (027) 231-2270 FAX 233-0992

令和五年一月一日 発行

表紙の写真

第七十五回群馬県植樹祭 令和四年十月二十二日 甘楽郡南牧村大字小沢地内  
山本知事と南牧小学校緑の少年団がジンダイアケボノを植樹